

硫黄鳥島の航空磁気測量結果*

The Results of Aeromagnetic Survey in and around Io-Torishima

海上保安庁
Japan Coast Guard

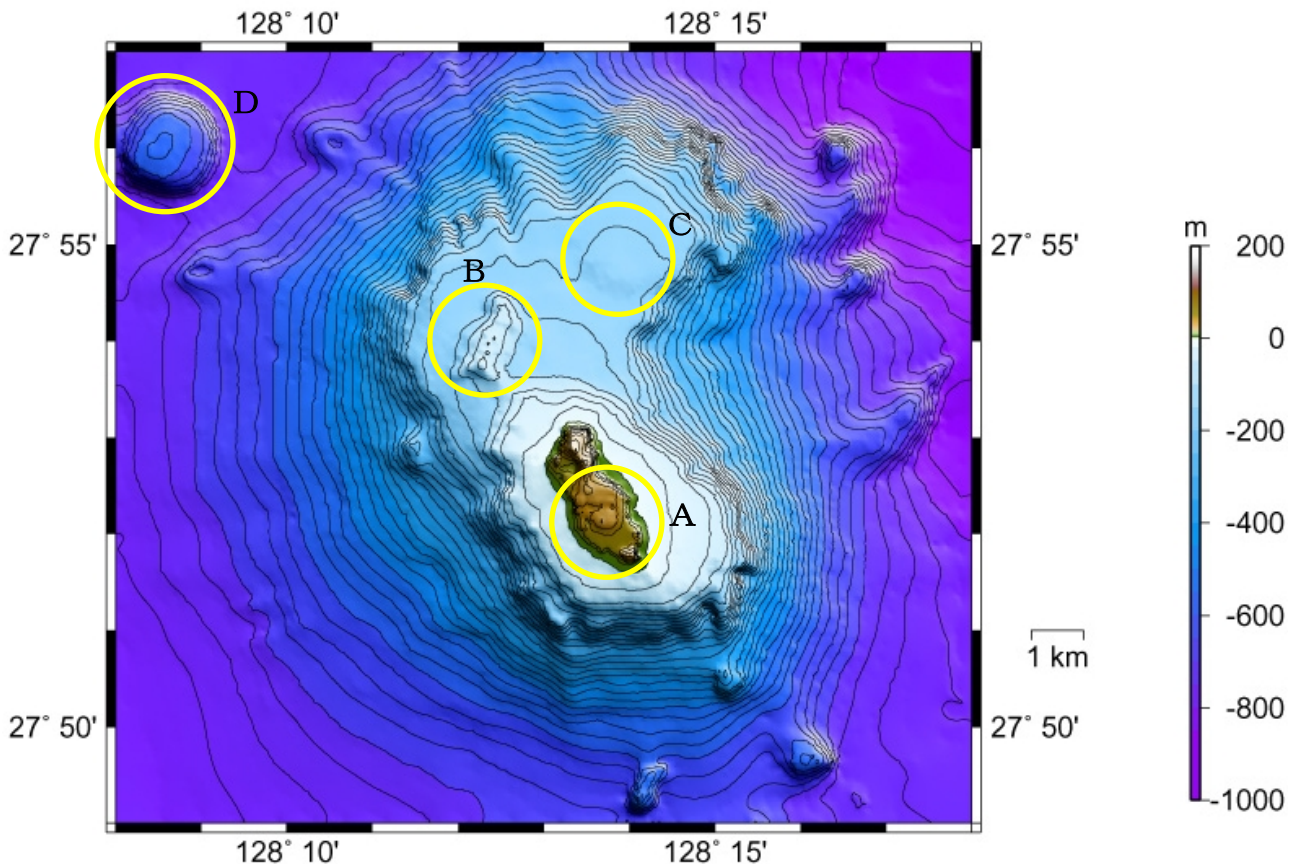
2006年10月に実施した硫黄鳥島の航空磁気測量結果について報告する。
測量は、飛行高度約470m、測線を、南北東西に460～930m間隔で実施した。
図2にその成果である地磁気全磁力異常図を示す。

硫黄鳥島は、北部の硫黄岳火山体と南部のグスク火山体の重畳により、磁気異常は複雑に分布している。

第1図のA～Dで示す箇所に火山に起因するダイポール型磁気異常が見られる。

島の北端から北北東沖合、3km付近(C)に、Aのグスク火山体と同規模の磁気異常が存在しているのが特徴的である。

硫黄鳥島位置図
Location of Io-Torishima



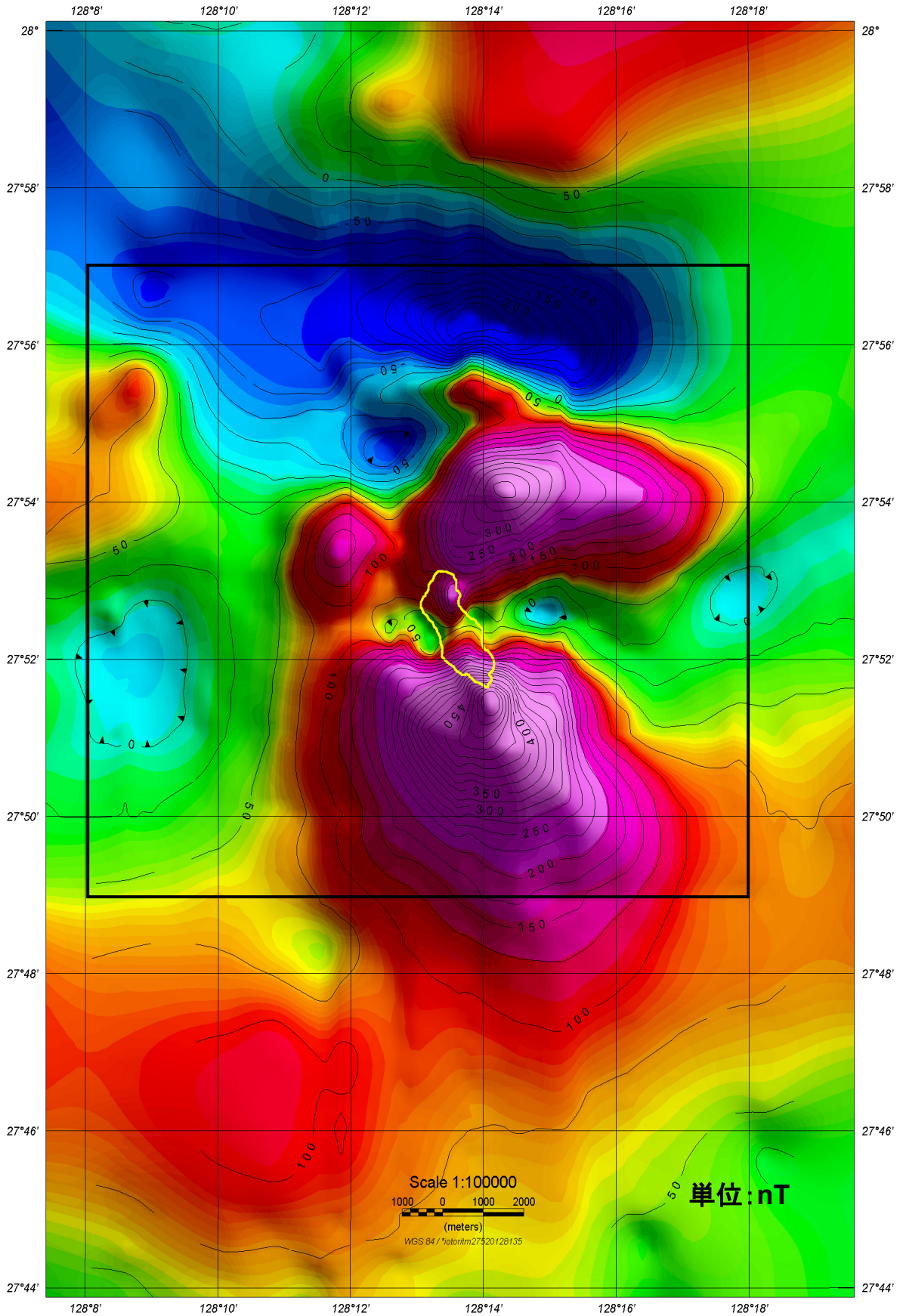
第1図 硫黄鳥島付近海底地形図

Fig.1 Bathymetric map around Io-Torishima.

(陸部は、国土地理院発行の数値地図 50m メッシュ使用)

(Land area based on 50m mesh material from the Geographical Survey Institute.)

*2009年8月27日受付



第2図 硫黄島付近地磁気全磁力異常図
Fig.2 Geomagnetic anomaly map around Io-Torishima.
(飛行高度470m、2006年10月測量)
(Flight altitude 470m survey in October 2006.)